

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業(医療に関する事業:子どもはぐくみ医療費助成事業)							
補助事業者名	松茂町長							
実施場所	松茂町内							
補助事業の成果の目標	子どもはぐくみ医療費助成制度において、助成受給資格から所得による制度を撤廃し、その疾病の早期発見と治療を促進し、子供の保健の向上と福祉の増進を図る。							
補助事業の内容	基金を造成し、小学6年生まで及び高校生の医療費の一部を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成28年8月から令和7年3月まで							
事業費及び交付金額	基金造成額						基金処分額	基金残額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	平成28年度	円 19,600,000	円 263	円 0	円 3,737	円 19,604,000	円 2,454,505	円 17,149,495
	平成29年度	0	286	0	1,714	2,000	3,490,282	13,661,213
	平成30年度	0	638	0	1,362	2,000	3,862,971	9,800,242
	令和元年度	6,000,000	3,400,000	0	985	9,400,985	3,532,317	15,668,910
	令和2年度	0	0	0	1,566	1,566	3,047,822	12,622,654
	令和3年度	0	0	0	252	252	3,575,959	9,046,947
	令和4年度	28,900,000	0	0	523	28,900,523	10,270,841	27,676,629
	令和5年度 予定	0	0	0	553	553	13,350,000	14,327,182
	令和6年度 予定	0	0	0	288	288	14,327,470	0
計	54,500,000	3,401,187	0	10,980	57,912,167	57,912,167		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>子どもはぐくみ医療の受給者にアンケート調査を行ったところ、回答者の全員が本制度の継続を希望し、「18歳まで助成して頂けるので、非常に助かります。」等の評価を得られ、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備に貢献できていることを確認した。</p> <p>また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を継続中である。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、子どもの保健の向上と福祉の増進及び安心して子育てが出来る環境の整備を図りたい。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業：町立文化施設専門職員配置事業)						
補助事業者名	松茂町長						
実施場所	徳島県板野郡松茂町広島字四番越11番地1及び徳島県板野郡松茂町広島字四番越6番地1						
補助事業の 成果の目標	地域住民が歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館及び町立図書館の運営に参加しやすい環境が構築されているとは言い難いことから、専門職員(学芸員、司書)を配置し、住民参加型文化事業を推進・活性化することにより、地域の教育及び文化環境の充実を図る。						
補助事業の内容	専門職員の配置 学芸員1名 非常勤職員(学芸員)1名 非常勤職員(司書)3名						
補助事業の 始期及び終期	令和4年6月1日から令和5年3月31日まで						
事業費及び交付金額		令和4年度					計
	事業費	円 9,178,538					円 9,178,538
	交付金額	8,000,000					8,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	<p>○成果及び評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあったがイベントの再開や町外の参加者の解除もあり、図書館並びに資料館とともに来館者数の復調の兆しが見えている。令和4年度は資料館は10,197人(前年度比114%)、図書館が74,028人(前年度比126%)となった。 ・引き続き感染対策をしたうえで専門職員を配置し、催し物を開催した結果、アンケート評価で79.7%の人が地域の教育及び文化環境の充実さを挙げており(前年度78%)、住民参加型文化事業の推進・活用化の維持はできたと考えている。よって本事業の成果は得られたと判断する。 ・利用者からは、資料館では「新しい企画展示や出前講座の提案」や「人形浄瑠璃や三味線の体験要望」等と希望も多く、学芸員を通じて今後を活かしたい。また図書館では「本が充実し、利用しやすい」、「司書さんのお話を子どもも楽しんでます」といった好意的な意見も頂いた。 ・一方で数は少ないもののアンケート内の評価で「どちらともいえない」「いいえ」という回答もあったので、事業の周知と魅力のある行事を引き続き行うことが必要である。 <p>○地域住民への周知の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙 ・町HP ・事業をお知らせする告知ポスター 						
事業の改善措置及び 今後の対応	引き続き本事業を継続することにより、コロナ禍終息後も地域の教育及び文化環境の充実を図れるよう、適切に実施する。						
事業の評価に際して の第三者機関の活用 の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	徳島飛行場関連特定事業（教育・スポーツ及び文化に関する事業：町立小中学校講師等配置事業）				
補助事業者名	松茂町長				
実施場所	徳島県板野郡松茂町内 （松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の成果の目標	<p>児童数が少ない長原小学校においては、在籍者のいない1、2、4、6年生を除く3、5年生で1学級となる複式学級が基準となる。</p> <p>今年度は、徳島県が1名の教員加配措置を行い、複式学級が解消された運営が可能となったため、町内他校と同様、学年に応じた教育を受けることができる体勢となり、今年度の町費での講師の配置は必要なくなった。</p> <p>一方、松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校においては、正規の教員だけでは、特別支援学級に在籍する重い障害をもった児童・生徒一人ひとりに必要な個別教育・指導を十分に行うことが困難であることから、特別支援指導員を各校1名加配し、特別支援教育の充実を図る。</p>				
補助事業の内容	特別支援指導員 3名（松茂小学校、喜来小学校、松茂中学校）				
補助事業の始期及び終期	令和4年6月から令和5年2月まで				
事業費及び交付金額		令和4年度			計
	事業費	円 5,668,485			円 5,668,485
	交付金額	円 5,000,000			円 5,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>特別支援指導員を加配した松茂小学校、喜来小学校及び松茂中学校においては、障害を持つ児童・生徒一人一人と親身に時間をかけて向き合うことにより、きめ細かい指導が実施でき、校長への聴き取り調査でも「児童一人一人に応じた指導内容・方法を工夫し、適切な指導・支援を行うことができた」「児童の実態に合う、スモールステップな教材の作成により、児童のつまずきの解消に大きな成果をあげた」「指導員の配置により、きめ細やかな支援をすることができた」「突発的、衝動的な生徒の変化にいち早く気づき、的確な対応を行って重大な事態になることを未然に防ぐことができた」「情緒面で不安定な生徒の特性を理解して接することができ、生徒が安心して学習に向かうことができた」などの評価を得られ、特別支援教育の充実が図れたことを確認した。</p> <p>また、町HPへの掲載により、地域住民への周知を図ることができた。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	令和5年度においても、特別支援を必要とする児童・生徒が存在することから、本事業を継続することにより、学校教育及び特別支援教育の充実を図りたい。				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。